

◆リーダー電子：IP伝送によるビデオ信号の入力に対応していくことを発表する。

リーダー電子（横浜市 社長：北川 昇）は、IP伝送によるビデオ信号の入力に対応していくことを発表する。また、リーダー電子はIP伝送における各方式を公表している各社とアライアンスを結ぶ。

IP伝送では4K、HD、SDそれぞれのフォーマットに対応する。4Kの映像をSDIで伝送するときは4本のケーブルを必要とするがIP伝送では1本で伝送できるため設置コスト、スペース、ケーブルの大幅な低減ができる。

ライブ制作におけるリアルタイムなIP伝送は今まで遅延等が問題となっていたが低遅延な画像圧縮技術等の進歩によりライブ制作でも可能となる。

今後4K・8K等の次世代映像フォーマットへの対応を行っていく上で、IPを活用した制作システムにより映像フォーマットの普及に合わせた柔軟なシステム拡張が可能である。また、制作システムのIP化が進むことでシステムの運用効率を高め制作コストを削減できる。

【製品に関するお問い合わせ】 営業管理技術チーム

TEL.045-541-2122

◆キャノンマーケティングジャパン：写真撮影を楽しく便利にする無料のiOSアプリケーション4製品を提供開始

キャノンマーケティングジャパン株式会社（代表取締役社長：坂田 正弘、以下キャノンMJ）は、フォトライフを一層楽しく便利にするiOS無料アプリケーション※1“BestShutter”（ベストシャッター）、“Photo Log Map”（フォトログマップ）、“TakeMyPic”（テイクマイピック）、“Easy Photo Sorter”（イージーフォトソーター）の4製品を12月14日より順次提供する。

デジタルカメラやスマートフォンなどの撮影機器やSNSの普及により、写真を撮影・共有する場面はますます増えている。これまでもキャノンMJは、写真と音楽を組み合わせたスライドショー作成アプリ「思い出ほん！」シリーズや、写真と文字を組み合わせてメッセージ性の高い作品を制作する写真加工アプリ「PERSTEXT」などを提供し、新しい写真の楽しみ方を提案してきた。そして今回、さらなる写真の楽しみを広げるために、「撮る」「加工する」「見る、見せる、整理する」といった様々なシーンで活用できる無料のiOSアプリケーションの提供を開始する。これらのアプリケーションにより、デジタルカメラやスマートフォンでより一層写真を楽しむ機会を幅広く提供するとしている。

■子どもやペットの一番かわいい瞬間を撮影できる“BestShutter”（ベストシャッター）

“BestShutter”は、なかなかこちらを向いてくれない子どもやペットを撮影するためのアプリケーションだ。子どもやペットは自分の好きな音にとっても敏感なため、撮影時に楽しい音、振り向く音を使うことによって、素敵な表情を撮影することができる。あらかじめ入っている様々なサウンドや、自分で録音したサウンドで「うちの子の一番かわいい瞬間！」が撮影できる。静止画の撮影はもちろん、動画撮影後にベストなシーンを選んで写真に切り出すこともでき、決定的瞬間を逃さない。また、デジタルカメラでの撮影時にも、サウンド再生

機能を使って子どもやペットの関心を引き付ける撮影補助ツールとして利用することも可能。（2015年12月14日提供開始）

■撮影記録マップを簡単に作成できる“Photo Log Map”（フォトログマップ）

“Photo Log Map”は、旅行や山登りなど様々なシーンで、撮影記録を場所情報と共に残したいというニーズに応えるアプリケーション。撮影した写真データとスマートフォンの位置情報サービスを使用して、撮影記録マップを簡単に作成することができます。GPS非搭載のデジタルカメラで撮影した写真データでも、スマートフォンのGPSログと関連づけて撮影記録マップを作成することができる。マップには写真のほか、ロケーションの状況を記録したテキストメモやサウンドメモを追加することも可能です。また、記録したログはGPXファイルに書き出す※2ことで、他のアプリケーションで活用することもできる。（2015年12月下旬提供開始予定）

■自身の望む構図で撮影を依頼できる“TakeMyPic”（テイクマイピック）

“TakeMyPic”は、旅先などで他人に撮影を頼む際、自分の望む構図で撮影してもらうのに役立つアプリケーション。スマートフォンの撮影画面上で、自分を写し入れたい位置に人型のマークを入れることで、撮影する人に自分が決めた構図を伝えることができる。さらに、見本となる構図の写真を事前に撮影することで、撮影する人はそれに重ね合わせるように撮ることができ、大切な旅の記念撮影などでの失敗を防ぐことができる。（2015年12月下旬提供開始予定）

■スマートフォン内の写真を簡単に整理できる“Easy Photo Sorter”（イージーフォトソーター）

スマートフォンで気軽に撮影ができる環境になり、スマートフォン内に大量の写真が保存されるようになった。“Easy Photo Sorter”は、そのような大量の写真を整理するためのアプリケーションだ。日付・時間・曜日などの情報を組み合わせて整理したい条件を設定すると、アプリケーション起動時に、iPhone/iPadの写真アルバムの中にその条件でフォルダが作成され、自動で写真を整理することができる。例えば、平日昼間と平日夜間・休日といった分け方をすることで、プライベートと仕事の写真を分類することができるなど、さまざまな活用をすることができる。（2016年1月下旬提供開始予定）

■iPhone、iPadに対応※3

各製品はiPhone/iPad向けアプリケーションで、「App Store」からダウンロードできる。

※1 広告の非表示機能をそれぞれ120円で販売。

※2 オプションの追加機能（120円）です。GPX：GPS測位データを記録するファイルフォーマットの1形式。

※3 対応機器、OSバージョンなどはキャノンホームページを確認のこと。

● BestShutter ホームページ：canon.jp/bestshutter

● Photo Log Map ホームページ：canon.jp/photologmap

● TakeMyPic ホームページ：canon.jp/takemypic

● Easy Photo Sorter ホームページ：canon.jp/easyphotosorter

※ iPhone、iPad および App Store は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

※ その他の文中の社名等は各社の商標または登録商標。

◆CP+事務局：2016年2月25日（木）～28日（日）に総合的カメラ映像ショー、CP+（シービープラス）2016をパシフィコ横浜および大さん橋ホールにて開催すると発表した。

CP+事務局一般社団法人カメラ映像機器工業会（CIPA）は、2016年2月25日（木）～28日（日）に総合的カメラ映像ショー、CP+（シービープラス）2016をパシフィコ横浜および大さん橋ホールにて開催。

本イベントは国際都市・横浜に開催地を移して7年目、「日本カメラショー」時代から数えて50年を越える歴史を持ち、世界をリードする総合的カメラ映像ショーとなった。ビジネスユーザーはもとより家族連れ、女性客も増加し、CP+2015では約67,000人を動員、39機種のワールドプレミア（世界初発表製品）がここ日本から世界に向けて発表された。世界のデジタルカメラ販売台数における日本メーカーのシェアは約87%、レンズ交換タイプのデジタルカメラにおいては約96%となり、日本は世界の写真映像ビジネスを牽引している。今回は新会場として大さん橋ホールを増設しパワーアップ、CP+は今回も写真の“撮る、見る、つながる”楽しさを体感できる製品展示や写真展示、各種イベントを通じて、フォトイメージングの世界がもたらす楽しみと感動に焦点をあて案内する。

CP+2016 主な5つのトピックス

■フォトアワード創設！日仏写真文化交流特別企画！ZOOMS 合同写真展

日本を代表するカメラ・写真専門誌の編集者が審査するフォトアワード The Editors' Photo Award ZOOMS JAPAN（通称ズームズ・ジャパン）、初の受賞者作品とフランスの提携イベント“Salon de la PHOTO”によるアワード“Les ZOOMS”（レ・ズーム）の合同展示を初開催。日仏受賞作家と編集者によるギャラリートークも実施予定。

■新会場増設！写真作品を“創る”楽しみを発信！PHOTO HARBOUR（フォト・ハーバー）

従来のパシフィコ横浜に加え大さん橋ホールもCP+会場として追加！写真作品を創り、展示する楽しみをより広く発信し共有するギャラリー&コミュニティスペース「PHOTO HARBOUR」を実施する。両会場を結ぶシャトルバスも運行。

■金・土・日の3日間限定！クラシックカメラからデジタルカメラまで！中古カメラフェア初開催

例年好評のフォトアクセサリアウトレットに加え、全国の中古カメラ店が集結し展示即売する「中古カメラフェア」を初開催。今回のCP+では中古カメラならではの楽しみも提供する。

■来場者の方々の投票で決まる！CP+2016 ワールドプレミアアワード初開催

毎年CP+から多くのワールドプレミア製品が発表され世界に発信される。今回から来場者参加企画として、会場で来場者それぞれが気に入った製品に投票し、最終日に集計、もっとも人気の高かった製品

を発表・表彰する「ワールドプレミアアワード」を実施する。

■国立天文台特別企画を中心とした天文写真特集！

国立天文台の全面協力により家正則名誉教授による特別講演「30m望遠鏡 TMT で見る宇宙」や模型展示を主としたブースを展示ホールに展開する。写真の楽しみを伝える従来から人気のセミナー「エンジョイフォトステージ」でも天文写真をフィーチャーする。

●開催概要

名称：CP+（シービープラス）2016

開催日程：2016年2月25日（木）～28日（日）

2月25日（木）12:00～18:00（※10:00～12:00 プレスタイム（展示ホールのみ））

2月26日（金）～27日（土）10:00～18:00

2月28日（日）10:00～17:00 ※プレスタイムはプレス関係者・特別招待者・プレスタイム招待券持参者のみの入場できる。

会場：パシフィコ横浜（展示ホール、アネックスホール、会議センター）
大さん橋ホール入場料：1,500円（税込）（ウェブ事前登録で無料）

障害者手帳を持参の方、小学生以下の方は無料

主催：一般社団法人カメラ映像機器工業会（CIPA）

協賛：一般社団法人日本写真映像用品工業会

コーディネーター：凸版印刷株式会社

後援：経済産業省、観光庁、神奈川県、横浜市、横浜商工会議所、日本貿易振興機構（ジェトロ）

特別協力：日本カメラ博物館 / 日本新聞博物館 / 横浜美術館

協力：公益社団法人応用物理学会フォトニクス分科会 / カメラ記者クラブ / 国立天文台 / 写真映像経営者協会 / 全日本写真材料商組合連合会 / 東京写真記者協会 / 日本営業写真機材協会 / 一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会 / 一般社団法人日本カメラ財団 / 公益社団法人日本広告写真家協会 / 公益社団法人日本写真家協会 / 一般社団法人日本写真学会 / 協同組合日本写真館協会 / 公益社団法人日本写真協会 / 一般社団法人日本写真文化協会 / 一般社団法人日本電子回路工業会 / 日本フォトイメージング協会 / 一般社団法人日本望遠鏡工業会 / パシフィコ横浜 / マグナム・フォト東京支社 / 公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー / 横浜市写真師会（50音順）

主な出展分野：カメラ、レンズ、フォトアクセサリ、プリンター、画像処理ソフト、携帯機器、ディスプレイ、プロジェクター、フォトフィニッシング、フォトブック、プリントペーパー、スタジオ用品・機材など

出展社数・来場者数（2015年12月15日現在）

・出展社数：133社

・団体（共同出展16社含む）前回131社

・団体（共同出展19社を含む）

・出展小間数：1,073小間前回965小間（主催者ゾーン、メディアパートナー含む）

・来場者数（目標）：70,000人（前回67,617人）

▶御苗場オフィシャルサイトへ！ www.onaeba.com

▶PHOTO! FUN! ZINE! オフィシャルサイトへ！ www.pfzine.com

◆ヤマハホール主催公演 2016 年度ラインナップ発表!

ヤマハホール（東京都中央区銀座7丁目9-14）では、2016 年度も国内外の一流アーティストを迎え、333 席のコンパクトかつ最高の音響空間で、贅沢なひとときをお届け致します。

Ⅲ 珠玉のリサイタル&室内楽 Ⅲ

国内外の一流アーティストの演奏、息遣いを間近に堪能いただける「珠玉のリサイタル&室内楽」シリーズ。2016 年度、ピアノリサイタルをより豊富にご用意し、アレクサンダー・カヴリリユク、福岡光太郎、鶴吉敏子などを迎えます。また、水谷川優子プロデュースの弦楽器アンサンブル、清水直子をはじめとしたベルリンフィル首席メンバーによるアンサンブル、ウィーンを代表するコンサートマスター、フォルクハルト・シュトイデ、タカーチ弦楽四重奏団など厳選されたアンサンブルをお届け。これまでの人気公演、古川展生プロデュースのスーパーチェロアンサンブルや、徳永二男、堤剛、練木繁夫による珠玉のトリオも再登場致します。

* 予定ラインナップ

4月9日(土) 14時「弦楽万華鏡(ストリングス・カレイドスコープ) produced by 水谷川優子〜ソロから6重奏まで〜」※12/9(水) 発売

* 共演: マーク・ゴトーニ / 双紙正哉 (Vn)、柳瀬省太 (Va)、渡邊辰紀 (Vc) 他

5月17日(火) 19時「ベルリン・フィルハーモニー・アンサンブル」※12/19(土) 発売

* 出演: 清水直子 (Va)、ヴェンツェル・フックス (Cla)、オズガー・アイディン (Pf) 他

5月20日(金) 19時「中嶋彰子 ソプラノ・リサイタル」※12/26(土) 発売

6月1日(水) 19時「福岡光太郎 ピアノ・リサイタル」※12/24(木) 発売

6月14日(火) 19時「フォルクハルト・シュトイデ バイオリン・リサイタル〜三輪 郁

とともに〜」※12/12(土) 発売

7月12日(火) 19時「アレクサンダー・カヴリリユク ピアノ・リサイタル」

※12/12(土) 発売

7月29日(金) 19時「雲井雅人サクソ四重奏団」

9月10日(土) 14時「Ta ´ rrega Guitar Quartet (タレガ・ギターカルテット)」

* 出演: 朴 葵姫 (バク・キユヒ)、松田 弦、徳永 真一郎、岡本 拓也 (Gui)

9月21日(水) 19時「タカーチ弦楽四重奏団」※12/21(月) 発売

9月22日(木・祝) 時間未定「鶴吉敏子 ピアノ・リサイタル」

9月29日(木) 19時「三浦文彰 バイオリン&ピオラ・リサイタル〜江口 玲とともに〜」※2016/1/9(土) 発売

10月4日(火) 19時「古川展生 Produce スーパー・チェロ・アンサンブル Vol.3」

* 出演: 古川展生 / 横坂 源 / 辻本 玲 / 門脇大樹 / 水野由紀 / 森山涼介 (Vc)

10月14日(金) 19時「北村朋幹 ピアノ・リサイタル」

11月15日(火) 19時「ステファン・シュトロイスニク ピアノ・リサイタル」

2017年1月13日(金) 19時「河村尚子 ピアノ・リサイタル」

2017年1月20日(金) 19時「工藤重典&福田進一」

2017年1月27日(金) 19時

「徳永二男、堤 剛、練木繁夫による珠玉のピアノトリオ・コンサート Vol.3」

2017年2月26日(日) 14時「クシシュトフ・ヤブウォンスキ ピアノ・リサイタル」

2017年3月24日(金) 19時「伊藤 恵 ピアノ・リサイタル」

※発売日記載の無い公演に関する詳細は、公演日の半年前頃を目安に発表いたします。

Ⅲ エレガントタイムコンサート Ⅲ

「銀座」のゆるやかな午後、クラシックからジャズ、ラテン、ポップスなど、様々なジャンルの上質な音楽を楽しむひとときをお届けします。開始から約1年、早くも完売公演が続き、人気シリーズとなってまいりました。2016年度は昨年度に続き石田泰尚、金子鈴太郎、清塚信也からなるスーパートリオ 3°Cや宮田大&ジュリアン・ジェルネを迎えるほか中川英二郎、中鉢聡、荘村清志、SINSKE、塩谷哲、古澤巖とバラエティに富んだラインナップ。また、公演の前には近隣の東京銀座資生堂ビル“資生堂パーラーサロン”にて出演者と共にごパーティを楽しむプラン、ランチやティータイムをセットにしたプランをご用意しております。ステージ以外でのアーティストの魅力にも触れられるパーティは、優雅で貴重なひととき。生活に潤いとなる特別な機会をお届けします。

※公演によりパーティの有無が異なります。

* 予定ラインナップ

4月28日(木) 13時 Super Trio 3°C スペシャル・コンサート ※2016/1/28(木) 発売

* 出演 Super Trio 3°C (石田泰尚、金子鈴太郎、清塚信也) ※終演後パーティ有

6月3日(金) 13時 宮田大 チェロ・コンサート〜ジュリアン・ジェルネと共に〜

※12/26(土) 発売 ※終演後パーティ有

10月22日(土) 時間未定 中川英二郎 ラテン&ディキシー・サミット ※パーティ無

* 出演: 中川英二郎 (Trb)、中川喜弘 (Trp)、青木 研 (バンジョー)、家中 勉 (Tub)

12月予定 中鉢聡 テノール・コンサート ※パーティ有

2017年2月11日(土) 14時 荘村清志 & SINSKE デュオ・コンサート ※終演後パーティ有

2017年3月4日(土) 時間未定 塩谷 哲 & 古澤 巖 ※パーティ無
※発売日記載の無い公演に関する詳細は、公演日の半年前頃を目安に発表いたします。

<http://www.yamaha.co.jp/yamahaginza/hall/>

【問い合わせ先】ヤマハ株式会社 事業企画部 ヤマハホール担当 山田

TEL: 03-3572-7000

E-mail: miwako.yamada@music.yamaha.com

◆ Blackmagic Design : ヨーロピアン・スイミング・チャンピオンシップ、ライブ放送用に Blackmagic Micro Studio Camera 4K を導入

Blackmagic Design は、イスラエルのネタニヤで開催されたヨーロピアン・ショートコース・スイミング・チャンピオンシップ 2015 において、Dynam iCam 社が開発した専門的な 3D モーション・ロボットケーブルシステムに Blackmag ic MicroStudio Camera 4K が導入されたことを発表した。

Blackmagic Micro Studio Camera 4K はライブ放送用の主要オーバーヘッドカメラとして、スポーツを専門とする Mizmor HD Product ions が考案したマルチカメラ屋外中継セットアップに組み込まれた。そして BBC、RAI TV、MTVA、ORF、NOS、TVE、SVT など 20 を超える EBU (欧州放送連合) 提携ブロードキャスター向けに、ライブプログラムのミックスが制作された。

Blackmagic Micro Studio Camera 4K は、オリンピック仕様 10 レーンプールの頭上、3D モーション・ロボットケーブルシステムの一部として組み込まれた。これは、ヨーロピアン・スイミング・アソシエーションによる放送必須条件だった。軽量のウインチとケーブルで固定された 360 度ジンバルを搭載し、スタビライズにも対応したこのソリューションは、他のレールリグ・ソリューションよりも広範囲のアングルから撮影できる。

「Micro Stud io Cameraのおかげで、傑出した映像が撮影できました」と明かすのは、Mizmor Productions のヘッドプロデューサー、ジブ・ベザレル (Ziv Beza lel) 氏。「このソリューションでは、プールの頭上からショットを撮影できただけでなく、より柔軟で幅広い動きで競泳者を追うことができました。その結果、競技全体の興奮を強調できました。」ジンバルの操縦係とカメラマンは横に並び、協力して撮影を行った。カメラマンは Blackmag ic Micro Studio Camera 4K の CCU ソフトウェアをファイバー接続で使用し、アイリス、シャッタースピード、ホワイトバランス、ゲインなどのパラメーターをコントロールした。

「リモートカメラコントロール機能は、あらゆるマルチカメラ環境で欠かせません。このスイミング大会のように、様々な種類のカメラからの信号をミックスするときはなおさら重要ですね」と、ベザレル氏は続ける。「コントロールできるパラメーターが多いほど、より優れた映像が生み出せます。

A TEM の CCU では各カラーコントロールのリフト、ガンマ、ゲインをコントロールできるので、Micro Studio Camera 4K の映像と中継車の他の映像との一貫性を保つことができました。」「最高画質を実現する小型の HD/Ultra HD カメラが数多く市場に出ていることを知りました。そこで私たちは、それらのコンパクトなボディーを配置でき、ライブイベントだけでなくスタジアムや会場に設置できる今までにない軽量のケーブルシステムを設計したんです」と、Dynam aCam のイノッシュ・カッセル (Enosh Casse l) 氏は説明する。「Blackmag ic Micro Studio Camera の機能と仕様を知ったとき、放送局品質のイメージと斬新で独特なカメラアングルを融合させ、スポーツ放送をクリエイティブな次元に持ち上げるという私たちの目的に完璧なカメラであることがすぐに分かりました。」

◆ Man With A Mission のミュージックビデオ、DaVinci Resolve Studio でグレーディング

Blackmagic Design はこの日、人気ロックバンド Man with the Mission のヒットシングル「DIVE」のミュージックビデオのグレーディングに DaV inci Resolve Studio を使用したことを発表した。グレーディングはレスパスビジョン株式会社のカラリスト、田中基氏が担当した。Man With A Mission は、2012 年のメジャーデビューから、トップ 10 入りのシングルが 4 枚、トップ 4 入りのアルバムを 4 枚もつ、人気バンド。今回の「DIVE」は映画「新宿スワン」のテーマソングでもあり、同作品の主演俳優である綾野剛が出演していることでも話題となった。Man W ith A Mission のメンバーが演奏する場面と、俳優の出演シーンで構成されたこの作品は、コンクリートの無機質な場所で、全体的に暗めながらも強めの照明を複数の方向から炊いている。ダークな雰囲気を作りつつ、カメラの動きときつめの照明の動きがスピード感を出し、同曲のクールさを存分に引き出している。グレーディングを行った田中氏はこう語る。「グレーディングの際はある程度こちらからルックを何パターンか提示して、その中からベストなルックを監督や DP に選んでもらうスタイルで作業を進めました。この作品は全体を通して照明がキレイにはいっているので、その光を効果的に見せるためにハイライトと暗部に色を入れたり、ハイライト部分にツヤを足したりしました。」「人物のショットでは、クオリファイアのルミナンスを使用してハイライト部分のメリハリを出しています。ルミナンスのみを使うことで、照明があたっていればキーを取れます。そのルミナンスの範囲を広げたり狭めたりすることによって、顔の陰影を作りました。」また、DaV inci Resolve で気に入っている機能のひとつとして、田中氏はソースタイムコードでタイムラインのショットを並び替えるモードを上げている。「編集したタイムラインをソースタイムコードで並び替えることによって、今回の作品で言えば、バンドが演奏しているショット、人物のショットといったそれぞれのショットが、ブロックごとに並び替えるため、グレーディングが効率的に進められるんです。」田中氏は常に進化を続ける Reso lve についてこう語る。「どんなカメラの素材がきても、Resolve なら読み込んでくれる。そして、どんな重い素材を扱っていても、難なく動作する部分は、使いやすいですね。私は、古くから DaV inci のコントロールパネルを使っていますが、Contro lSurface も旧型の使いやすい部分を受け継ぎつつ、さらに進化している点もいいですね。」「カラーグレーディングは 1 枚の静止画に対しては求められているものが作りやすいんです。ただ、別のアングルや他のショットとの繋がりを、限られた時間内でどううまく表現するか、というのがカラリストに求められていることのひとつだと思っています。様々なカメラの素材が混ざっていると、繋がりには更に気を使います。Contro lSurface を使ったグレーディングは、作業効率を上げて色作りの部分に多く時間を割けるので、限られた時間で作品のクオリティを高めたいクライアントの方のニーズに応えることができます」と田中氏は結んだ。

Producer: 早坂匡裕 / GEEK PICTURES Project Manager: 大竹聡 / GEEK P ICTURES 演出: 塚越規 / The D irectors Guild 撮影: 岡村良憲 / スタージョン 照明: 上野敦年 / 小池事務所 Designer: 金子宙生 / 金子デザイン事務所 OFF LINE Editor: 石谷翔平 / フリーランス ON LINE Editor: 須藤公平 / デジタルガーデン カラリスト: 田中基 / レスパスビジョン SE: 鈴木隆弘 / フリーランス